

年度	学年	教科	授業数／週
令和 8 年度	中学 2 年	理科	4
教科書			
啓林館「未来へひろがる サイエンス 2」			
補助教材			
正進社「理科の完全学習 2 年」			

年間指導目標
問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、【規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準】を見いだして表現すること。 物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

観点	評価材料	評価基準
知識 技能	・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 実験操作	知識に関して、定期テストにおける観点別問題と小テストで評価する。 技能に関して、各テストにおける観点別問題や、操作の意味を理解した上で実験を行えているか評価する。 知識・技能を点数化して合算し、満点の概ね80％以上をA評価、30％以下をC評価とする。
思考 判断 表現	・ 定期テスト ・ 小テスト ・ ワークシート ・ 授業内考察	定期テストにおける観点別問題と小テストで評価する。 また、ワークシートにおいて、授業内容に合った予想や考察ができているかを評価する。 思考・技能・表現を点数化し、満点の概ね80％以上をA評価、30％以下をC評価とする。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・ ワークシート ・ その他提出課題	ワークシートにおいて、授業の取り組みを記しているかを評価する。 ワークの取り組みも評価する。それらを点数化し、満点の概ね80％以上をA評価、30％以下をC評価とする。

授業の評価について	
注意事項	・ 実験は安全に十分注意して行う。 ・ 器具は正しく扱い、丁寧に使用する。 ・ ケガや器具の破損があった場合は速やかに報告する。 ・ 授業に関係のない行動や私語がある場合、評価を下げることもある。
アドバイス	・ 正解を覚えるだけでなく、「なぜそうなるのか」を考えると良い。理由まで考えることが理科の力になる。 ・ 授業の内容がわからないときはそのままにせず、質問することが大切。 ・ 授業後には同じ内容の設問に取り組み、知識を定着させると良い。

年間指導計画			
学期	月	単元	テスト・評価
1 学 期	4	生物の体のつくりとはたらき 化学変化と原子・分子	
	5	生物の体のつくりとはたらき 化学変化と原子・分子	
	6	生物の体のつくりとはたらき 化学変化と原子・分子	期末テスト(知・思・主)
	7	生物の体のつくりとはたらき 化学変化と原子・分子	
夏休み	8		
2 学 期	9	電流とその利用 化学変化と原子・分子	中間テスト(知・思・主)
	10	電流とその利用 化学変化と原子・分子	
	11	電流とその利用 化学変化と原子・分子	期末テスト(知・思・主)
	12	電流とその利用 化学変化と原子・分子	
3 学 期	1	地球の大気と天気の変化 化学変化と原子・分子	
	2	地球の大気と天気の変化 化学変化と原子・分子	学年末テスト(知・思・主)
	3	地球の大気と天気の変化 化学変化と原子・分子	